

社員・シャインな職場訪問記②7



平成26年度表彰企業のご紹介も今号が最後となりました。

仕事と家庭の両立推進部門賞を受賞された
メタコート工業株式会社 様です。

奈良工場総務課の若崎さんにお話し
を伺いました。



メタコート工業株式会社

事業内容：製造業

所在地：北葛城郡王寺町王寺3-2-46

TEL：0745-72-7401



フレックスタイム制度など多様な働き方を取り組まれたのはいつからですか？

平成18年に製造管理部門で働く女性社員が妊娠し、その社員が育児休業を利用して出産後も働きたいと申し出たため、社内で初めて育児休業制度を利用することになりました。その社員は優秀な人材で、会社としても必要であったため、出来る限りのサポートをしてきました。育児休業後は小学校就学まで、フレックスタイム制を利用しながら勤務し、今では製造管理部門の中心的な存在となっています。この社員がきっかけとなり、社員が育児休業やフレックスタイム制など多様な働き方を選択できる雰囲気、社内全体が変わっていったと思います。現在では、3名の社員（男性2人、女性1人）がフレックスタイム制を利用し、過去には男性社員やパート社員が育児休業制度を利用したこともありました。

また、介護休業も過去に何人か利用しておりました。管理職が介護休業を率先して利用した経緯があり、このため介護休業も抵抗なく取りやすい雰囲気になっていると思います。

取組の中で苦勞された点はございますか？

今フレックスタイム制を利用している社員は、毎日遅く出社して早く帰る、というわけではなく、保育園の送迎などの関係でどうしても出社時間に間に合わない場合だけ制度を利用している社員がほとんどです。ですので、自分の仕事をある程度片付けて制度を利用している社員が多く、目立って周りが困っているということはありません。利用する社員も「今日は保育園の迎えがあるから」とか、あまり抵抗なく制度を利用しています。育児休業や介護休業の場合、そのときだけ新たに雇用するのではなく、チーム全体で休んでいる社員をサポートしています。



初めて育児休業制度を利用された金子さん。
今では製造管理部門の中心に。

取組を進める上で大切と思われることは何ですか？

制度の充実はもちろん大切ですが、それ以上に実際に制度が利用されることが大切だと思っています。当社の場合、先ほど申し上げました女性社員が制度を積極的に利用してから周りの社員も利用しやすくなった、というのは事実ですが、それと同時に当社の社長が制度の利用に前向きということが大きなポイントだと思っています。会社のトップが制度の利用に積極的であるからこそ、社員も抵抗なく制度を利用できるのだと思います。



社員旅行での一コマ。
会社のいい雰囲気が伝わってくるようです。

～ 記者の感想 ～

まず、パート社員で育児休業制度を利用された方がいらっしゃることに非常に驚きました。制度があっても利用されていない場合がほとんどだからです。お話を詳しく聞かせていただき、本当に会社が社員を大切にしていることが感じられました。今後も、様々な取組を進められることを期待しております。